

八丈島 水産だより 2月号 2008



サンダーソニア



八丈富士とアロエ

春のロングイベント「八丈島花と緑のフェスタ2008」が1月26日に開幕し、4月6日まで、さまざまな催しがあります。詳しくは八丈島観光協会 (Tel.04996-2-1377) へお問い合わせください。現在、八丈島では、冬の名物である真っ赤なアロエの花が青空のもとで満開です。また、温室では、サンダーソニア(別名クリスマスベル)なども咲いています。

これからは、八丈島の漁師さんにとって「春で一年分の生活費を稼ぐ」といわれる程大切な季節です。いよいよ漁師さん達は、疲れを忘れて働く「島の漁本番」という季節を迎えます。

■八丈島の春の魚は春トビとカツオ

春トビ(ハマトビウオ)漁は、例年では、節分の頃から始まります。今年は1月下旬から始めようと準備万端でしたが、時化が続いたためなかなか出漁できず、海が凪ぎのを待ち望んでいました。春トビ漁は、夜出航して、朝帰って来る夜の仕事なので、漁師さんは寝不足になりがちです。ただ、このときばかりは、骨身を惜しまず漁に出ます。

1月26日にトビウオ初出漁
初日は350尾



春トビ



カツオ

一方、トビウオ漁を操業しない漁師さん達は、年が明けるとほとんどが曳き縄漁へ切り替えて、黒潮に乗ってやってくるマグロやカツオをねらいます。例年では、最初はビンナガ(マグロ)が獲れはじめ、徐々にカツオ漁が本格的になり3月から4月頃にピークを迎えます。しかし、ここ2年間はカツオの漁獲量が思わしくありません。今年こそはと、誰もがカツオの大漁を祈っています。

■漁協女性部、頑張っています！ 初講師を務めてきました。



女性部の会長は、今年も早速1月20日、さいたま市で行われた「浜の旬を楽しむ親子料理教室」に、講師として招かれました。おそろおそろスタートした「女性部の活動」でしたが、今となっては、学校給食に、朝市に、講師にと、さまざまな仕事を受けて立ち、島の魚の消費拡大に一役か買おうという意気込みがよりいっそう高まっています。